



議会報

# ならは



渡辺博道復興大臣へ要望書を手渡しました…要望活動(1月30日)

■ 平成30年12月定例会 会期12/12(水)～13(木)

- ▶ 平成30年12月定例会……………2～5ページ
- ▶ 臨時議会……………5～6ページ
- ▶ 全員協議会……………7ページ
- ▶ 町政を問う【一般質問】……………8～10ページ
- ▶ 議会の足跡……………11ページ
- ▶ 要望活動……………12～13ページ
- ▶ 委員会のうごき……………14～15ページ
- ▶ 議会報告会／開会予定……………16ページ

平成31年

第183号

3月5日  
発行



平成30年第12回12月定例会は、12月12日から13日までの2日間の会期で行われました。

提案された議案のうち、議員定数に関する特別委員会調査報告1件（不承認）と議会定数条例の改正（2名削減案）1件（否決）をのぞき、条例制定1件、条例改正5件、指定管理者の指定1件、補正予算6件、工事請負契約締結4件、備品購入契約締結3件、土地の取得1件、規約の変更1件の計22件について、慎重に審議された結果、原案どおり可決・認定・同意されました。

## 委員会調査報告

### 議員定数に関する調査特別委員会報告

（現状維持の定数12名）

結城 政重 議員定数に関する調査特別委員会委員長

第1回	2月13日	今後の進め方等の決定
第2回	5月 8日	他町村議会の定数削減の状況調査
第3回	7月12日	双葉町議会視察研修
第4回	7月13日	葛尾村議会視察研修
第5回	7月19日	南会津町議会視察研修
第6回	11月22日	各委員の意見・考え方の聴取
第7回	11月29日	調査結果のまとめ

#### ●まとめ

これまでの調査・研修結果を踏まえ、現状維持とするか、定数削減をするかの採決を行い、結果、現状維持（12名）とした委員が5人、削減すべきとした委員が4名で、議員定数は現状の12名とすることに決定した。

議員定数は、地方自治法の本旨を鑑みれば、町的意思決定するのにふさわしい規模であることが必要である。今回は、現在の町の人口及び最近の郡内・県内町村議会の定数の動向等を調査し、議会の今後の体制及び各委員会の活動人員を十分に審議した結果、現在の定数である12名を維持することとした。

#### ●討論

反対討論：猪狩 守 議員

初の無投票となった前回選挙を重く受け止め、削減すべき。

賛成討論：宇佐見 雅夫 議員

議会機能を維持するため、委員会報告どおり現状維持とすべき。

◆不承認【賛成5／反対5⇒議長採決：反対】

議員定数を1名削減!!

12名から11名に

# 平成30年12月定例会



# 議会定数条例の改正

## ①（2名削減案）

●提出者 結城政重

賛成者 猪狩 守、古市福男

●提案理由

・避難指示解除後3年以上経過したが、町内居住率は5割に留まっており、町民からは議員定数を削減すべきであるとの声を多く聞く。こうした現状を踏まえ、議員自らが血と汗を流し、議員定数の適正化を図るため、定数を2名削減すべきである。

●討論

反対討論…宇佐見 雅夫 議員

・議会機能を維持するため、一定の議員数を保つべき。

賛成討論…関本 範貞 議員

・町民の声に耳を傾けると、現時点では10名が適正である。

反対討論…鈴木 恒男 議員

・多様な町民の声を吸い上げるには、一定の議員数が必要。

◆否決【賛成5／反対5】

↓議長採決…反対【】

## ②（1名削減案）

●提出者 宇佐見雅夫

賛成者 渡邊修三、鈴木恒男、大和田信、岩間尊弥

●提案理由

・特別委員会の審議結果は、現状維持との報告である。町民の負託に応え行政監視機能や闊達な議論を行ううえでも、一定の議員定数を確保すべきであるが、今後の町民減少を考慮し1名削減に留めるべきである。

●討論

反対討論…草野 公雄 議員

・定数が奇数だと、賛否同数が増加し、議長への負担が大き

い。

賛成討論…渡邊 修三 議員

・これから、若い世代の議員を育てて行かなければならない。

◆可決【賛成5／反対5】

↓議長採決…賛成【】

◎この結果、議員定数が1名削減され、現在の12名から11名となりました。この定数は、次回の議会議員一般選挙（平成33年8月予定）から適用されます。

## 都市公園条例の制定

●新設する屋内体育施設を含めた総合グラウンドを、都市公園法等に基づく管理等を行い、公共の福祉の増進に寄与するため、総合グラウンドの設置及び管理に関し必要な事項を定める必要があることから制定。

◆可決【賛成全員】

## 議員の報酬、期末手当、費用弁償に関する条例の改正

●県人事委員会の給与勧告に基づき、議員の期末手当の算定基礎額に乗ずる割合の改定を行う必要があるため一部改正。

◆可決【賛成9／反対1】

## 町長等の給与及び旅費に関する条例の改正

●県人事委員会の給与勧告に基づき、町長等の期末手当の算定基礎額に乗ずる割合の改定を行う必要があるため一部改正。

◆可決【賛成全員】

## 町職員の給与に関する条例の改正

●県人事委員会の給与勧告に基づき、職員の給料月額及び勤勉手当の算定基礎額に乗ずる割合の改定を行う必要があるため一部改正。

◆可決【賛成全員】

## 下水道条例の改正

下水道事業の健全な運営を図るため、公共下水道の使用料を改定する必要があるため一部改正。

◆可決【賛成全員】



北地区浄化センター

## 補正予算

## 一般会計(第8号)

《補正額》

6億0,855万1,000円増額

《予算総額》

143億7,550万0,000円

●主な補正事業

東日本大震災復興交付金返還金

5億0,326万4,000円

◆可決【賛成全員】

## 国民健康保険特別会計

(第2号)

《補正額》

95万7,000円増額

《予算総額》

20億6,567万4,000円

●主な補正事業

葬祭費負担金

50万円

◆可決【賛成全員】

## 下水道事業特別会計

(第2号)

《補正額》

4,092万2,000円減額

《予算総額》

4億9,637万8,000円

◆可決【賛成全員】

## 住宅用地造成事業

特別会計(第2号)

《補正額》

3,206万5,000円減額

《予算総額》

1億0,180万1,000円

◆可決【賛成全員】

## 介護保険特別会計

(第2号)

《補正額》

2,952万5,000円増額

《予算総額》

10億4,496万0,000円

●主な補正事業

施設介護サービス保険給付費

2,479万6,000円

◆可決【賛成全員】

## 後期高齢者医療特別会計

(第2号)

《補正額》

297万8,000円増額

《予算総額》

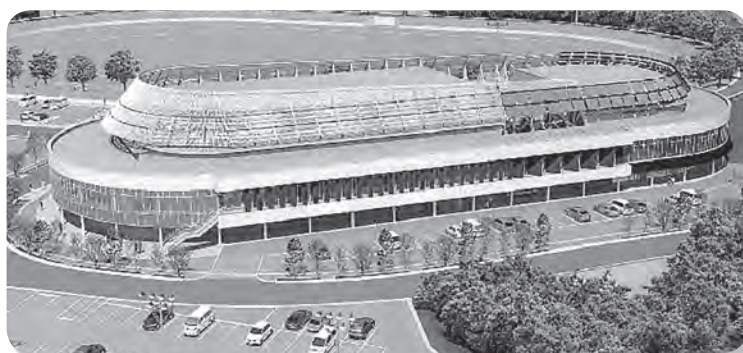
3,587万0,000円

●補正事業

後期高齢者医療広域連合納付金

297万8,000円

◆可決【賛成全員】



屋内体育施設の名称は「ならはスカイアリーナ」に決定

## 指定管理者の指定

屋内体育施設の  
指定管理者の指定

◆指定管理者

株式会社Jヴィレッジ

◆可決【賛成全員】

## 備品購入契約締結

屋内体育施設用  
備品購入事業

●契約相手

株式会社国分

●契約金額

2,842万6,140円

◆可決【賛成全員】

屋内体育施設  
アリーナ・プール用  
備品購入事業

●契約相手

株式会社オノヤスポーツ

●契約金額

6,393万6,000円

◆可決【賛成全員】

屋内体育施設室内  
遊具備品購入事業

●契約相手

有限会社タナカスポーツ

●契約金額

2,419万2,000円

◆可決【賛成全員】

## 12月定例会

## 土地の取得

防災・医療・教育・  
観光多機能拠点  
整備事業用地

●所在

山田岡字小堤21番4

●面積

1万7,799㎡

●物件

6,004本  
(地目…山林)

●取得価格

(杉、松、桜、その他)

●土地

2,847万8,400円

●物件

399万9,581円

●地権者

1名

◆可決【賛成全員】

## 規約の変更

福島県市町村総合  
事務組合規約の変更

●文言の修正を行うため、  
一部改正。

◆可決【賛成全員】

## 工事請負契約締結

前原地区排水路整備工事

●契約相手

株式会社彩輝

●契約金額

7,916万4,000円

◆可決【賛成全員】

農業基盤整備工事

●契約相手

草野建設株式会社

●契約金額

9,234万0,000円

◆可決【賛成全員】

笑ふるタウンならは  
西側調節池太陽光  
発電設備設置工事

●契約相手

植田電機株式会社

●契約金額

8,098万9,200円

◆可決【賛成全員】

館ノ沢橋撤去工事

●契約相手

株式会社橋本組

●契約金額

1億3,392万0,000円

◆可決【賛成全員】



笑ふるタウン



農地の基盤整備を実施

## 臨時議会

平成30年11月  
臨時議会  
会期 平成30年11月20日

## 補正予算

一般会計(第7号)

《補正額》

1億4,044万3,000円

増額

《予算総額》

137億6,694万9,000円

●補正事業

農業基盤整備工事

1億4,044万3,000円

◆可決【賛成全員】

## 工事請負契約締結

町道狐久保線道路改築工事

●契約相手

草野建設株式会社

●契約金額

9,288万0,000円

◆可決【賛成全員】

建設副産物仮置場撤去工事

●契約相手

株式会社橋本組

●契約金額

5,994万0,000円

◆可決【賛成全員】



# 臨時議会

臨時議会

平成31年1月  
臨時議会  
会期 平成31年1月17日

## 工事請負契約締結

岩沢海水浴場  
災害復旧工事

●契約相手

株式会社橋本組

●契約金額

5,961万6,000円

◆可決【賛成全員】

## 備品購入契約締結

道の駅ならは  
温泉保養施設  
厨房備品購入事業

●契約相手

ホシザキ東北株式会社

いわき営業所

●契約金額

2,365万2,000円

◆可決【賛成全員】



再開準備中の道の駅



復旧が始まる岩沢海水浴場（震災前のようす）

平成31年2月臨時議会

会期 平成31年2月4日

## 工事請負契約変更

### ため池放射性物質対策工事

●契約相手 草野建設株式会社

●変更前

1億0,044万0,000円

●変更後

9,645万1,560円

(398万8,440円減額)

◆可決【賛成全員】

### 町道木屋・小六郎線 道路改築工事（2工区）

●契約相手 加藤建設株式会社

●変更前

1億0,233万0,000円

●変更後

1億0,044万2,160円

(188万7,840円減額)

◆可決【賛成全員】

### 屋内体育施設新築工事

●契約相手

前田建設工業株式会社東北支店

●変更前

33億3,720万0,000円

●変更後

33億8,857万1,280円

(5,137万1,280円増額)

●変更理由 天井や壁の仕様変更

等による増額変更

◆可決【賛成8／反対1】

### 屋内体育施設外構工事

●契約相手

前田建設工業株式会社東北支店

●変更前

1億1,232万0,000円

●変更後

1億2,898万7,640円

(1,666万7,640円増額)

●変更理由

管理用道路の舗装復旧工事の増加等による増額変更

◆可決【賛成全員】

### 屋内体育施設再生可能 エネルギー設備導入工事

●契約相手 三共設備株式会社

●変更前

3億5,640万0,000円

●変更後

3億5,997万2,640円

(357万2,640円増額)

●変更理由

掘削汚泥処分費の増加等による増額変更

◆可決【賛成全員】

全 員  
協 議 会

## 全員協議会で、協議された事項についてお知らせします

## 町営住宅の使用料について 説明・建設課

## ●経緯

・ 檜葉町公営住宅

・ 町営住宅 (6団地) 153戸

・ 雇用促進住宅 (1団地) 60戸

・ 災害公営住宅 (4住宅) 158戸

計 371戸

・ 震災以降は、平成27年9月より再  
共用を開始。・ 平成27～30年度、震災時に町民で  
あった方の家賃を全額減免。

## ●現状

・ 入居状況 90%程度

・ 平成30年度家賃収入

・ 減免総額 2,046万6千円  
6,118万2千円

## ●課題

・ 自立再建者と比べ、負担額に差が  
あることで公平性に欠ける。・ 近隣自治体でも、家賃を全額免除  
している自治体はない。

## ●町の方針

・ 平成31年度から、家賃徴収を開始  
したい。

・ 平成31年度 本来家賃の50%

・ 平成32年度 本来家賃の75%

・ 平成33年度 本来家賃に戻す

※本来家賃25,000円の場合

31年 12,500円 (50%)

32年 18,750円 (75%)

33年 25,000円

## ●収入超過者について

・ 収入超過者 月収15万8千円以上

・ 収入超過者には、割増家賃が発生

※割増家賃については、平成32年度  
まで減免とする。

## ●災害公営住宅の払下げについて

・ 管理開始5年後から可能となる。

・ 払下げ可能時期

①一ツ屋住宅団地

②シウ神山住宅団地

③中満住宅団地

④寺脇住宅団地

No.1 123

No.2 123

平成35年3月

平成34年6月

平成34年3月

平成33年12月

平成33年4月

平成33年3月



災害公営住宅も段階的に家賃が引き上げられる

## 請願・陳情書を提出される方へ

請願・陳情書の記載内容や添付書類などに不備がある場合、  
受け付けが出来ないことがございますので、ご注意ください。

## 《留意事項》

- ・ 一つの案件ごとに作成してください。
- ・ 提出年月日、住所、氏名、電話番号を記載し押印をお願いします。
- ・ 請願者が多数の場合は、ほか〇〇名と付記し、別紙として、全員分の住所、氏名、押印がされている連名書または同意書等を添付してください。
- ・ 請願には必ず、議員1名以上の署名押印が必要（陳情の場合必要なし）です。
- ・ 内容には、何をどの様に処理して欲しいか等具体的に明記してください。
- ・ 意見書や要望書等の提出を求める場合は、その案文を必ず添付してください。
- ・ 提出は、次期定例会のおよそ10日前までに提出をお願いします。
- ・ その他、関係する書類等があれば添付してください。

<p>(表紙) 【請願書の様式例】</p> <p>※特に様式に決まりはありませんが、本文に記載された事項について明記の上、提出してください。</p> <p>〇〇〇〇〇〇に関する請願(陳情)書</p> <p>紹介議員 氏 名 印 (陳情の場合は、紹介議員は不要)</p>	<p>(本文)</p> <p>1 件名 〇〇〇に関する請願(陳情)書 (内容を端的に表す件名を書く)</p> <p>2 請願(陳情)の趣旨 (請願(陳情)の目的を簡潔に書く)</p> <p>3 内容 (請願(陳情)の内容やどのような対応をしてほしいかを具体的に書く。なお、意見書等の提出の場合は意見書案文を添付し、提出先等を明記。)</p> <p>上記のとおり請願(陳情)いたします。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>檜葉町議会議長 青木 基 様</p> <p>請願者 住所(県から記入) 印 氏名 電話番号</p>
--	---

# 町政を問う！



## ◆高齢者に対する介護の現状と対策について

全国的に少子高齢化問題が深刻化しているが、第7期檜葉町高齢者福祉計画によると、平成29年度の高齢化率は31・6%と高く、今後も上昇すると見込まれている。

**問** 現在、檜葉町に居住する一人暮らしの高齢者は何名いるのか。

**答** (町長) 一人暮らしの65歳以上の方は、平成30年11月末現在で253人です。

**問** 町内の居住者に限れば、広報「ならは」12月号によると、高齢者の数は1,369名で、高齢者率は約38・5%となり、県平均30・8%を大きく上回っている。高齢者のみの世帯は何世帯、何名か。

**答** (住民福祉課長) 高齢者のみの世帯は、246世帯、492名となり、

一人暮らしの方と合わせると、745名の方が高齢者世帯と単独の高齢者となる。

**問** 745名の中に、要支援、要介護の認定者は何名いるのか。

**答** (住民福祉課長) 要支援の方が49名、要介護の方が176名、合計で225名となっている。

**問** その中で認知症の方は何名か。

**答** (住民福祉課長) 日常の生活状態において監視等、見守り、声かけが必要な状態の方は、175名となる。

**問** 65歳以上の高齢者の5割以上が、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯という現状だが、要介護、要支援、認知症の方がかなり多いと感じる。現在、在宅介護や老老介護に対する町の支援はどうなっているのか。

**答** (町長) デイサービスセンターやホームヘルプサービス、ショートステイサービス、介護予防事業や相談・訪問を実施している。町独自の支援は、緊急通報システムの貸し付けや、寝たきり手当の支給、配食サービス、おむつ代の助成を実施しており、在宅介護者や老老介護者の負担軽減に努めている。

**問** 全国的な介護人材不足だが、檜葉

町の現状はどうなっているのか。

**答** (住民福祉課長) デイサービスや訪問介護、介護予防教室で人材不足により、若干名予定定員を受け入れられない現状である。リリー園は、44名が入所しているが、介護職員があと4名程いれば、定数56名まで入所でき、待機者12名をほぼ解消できる。やまゆり荘のデイサービスでは、パートが2名程いれば、現状の28名から、定員の32名を受け入れ可能との報告を受けている。

**問** 介護職員の充足率で、福島県は74・1%で全国最下位という結果が出ている。町の介護職員の充足率の推計はどうか。

**答** (住民福祉課長) 町の充足率は計算していないが、県の74・1%よりも低いと推計される。

**問** 町では、この将来的な介護人材不足に対してどのような対策をとっているのか。

**答** (町長) 介護資格取得者の増加を図るため、介護職員初任者研修事業の実施を検討するとともに、社会福祉協議会と連携し、外出支援や移動支援等を行う有償ボランティアの確保に努めていきたい。また、介護の重症化防止や要介護にならない身体づくりのため、健康事業や介護予防事業の充実を図っ

ていきたい。

**問** 介護予防事業所がオープンして間もなく1年半ほどになるが、現在までの利用状況はどうか。

**答** (町長) 保健福祉会館において、要支援者等を対象とした集団体操や頭の体操等を、月々金の午前と午後に実施しており、ほぼ定員数に達している状況である。

**問** 介護予防事業所を、しっかりと運用していただきたい。介護予防事業所のこれまでの成果をどう評価しているのか。また、今後の取り組みについてどうしていくのか。

**答** (住民福祉課長) 一定程度の事業成果はあると考えている。今後は、成果の出ている当該事業をより充実させ、その時々ニーズに合わせて改善して、今後の重度化防止や健康寿命を延ばすような活動を実施していきたい。

**提言** 教育と農業の2本柱を軸に復興は確実に進んでいると実感できる。

この復興が持続可能なものとなるため、もう一つの2本柱、①若い世代の人口回復と②高齢者に対する介護・介護予防が、将来を見つめたときに重要になってくる。

先を見越した施策を、今から準備万端となるよう対策をお願いする。



# 町政を問う！

宇佐見 雅夫 議員



## ◆人口増の政策等について

仮設住宅等の借り上げ期間が終了し、4月以降急増した帰町率もここ数か月では緩やかに伸びてはいるものの震災前の人口回復には極めて厳しい状況にある。国の交付金等で整備した様々な施設を活用しながら、老若男女が共に暮らせる町づくりを進めるうえでも人口増加に係る対策に力を傾注すべきと思われる。

**問** 町が目指している人口回復の中長期的な目標値はどのようなものか。

**答** (町長) 将来人口見通しは、平成32年の推定値で、上位推計で約6,100人、中位推計で約4,800人、下位推計で約3,800人となっている。中位推計である4,800人を当面の目標としつつ、復興施策を確実に推進することで、上位推計の6,100人を目指している。

**問** この実現の見通しについてはどのような認識なのか。

**答** (復興推進課長) 厳しいという認識である。来年度から策定に着手する、平成33年以降の町勢振興計画の中で、新たな人口目標を設定していきたい。

**問** 今戻っている人の中で、元々の町民の割合はどのくらいなのか。

**答** (くらし安全対策課長) 元々の町民は、2,771名が戻ってきており、率として49・7%となっている。

**問** 50%を超える町外の方が、檜葉に住所を移した主な理由はどのようなものなのか。

**答** (復興推進課長) 作業員の方をはじめ、復興支援でこの町に入り、町に魅力を感じ移住した方、檜葉以北の方が、それぞれの事情によって住民票を移動して町民になっている。

**問** 檜葉の今の小中学校、幼稚園の人数とそこに通っている町職員の子供の数は何人か。

**答** (教育総務課長) 現在102名で学校運営を行っている。町職員関係では、小学校で6名、中学校で1名の子供が通っている。

**提言** 次の世代にバトンタッチしていくために、小中学校を檜葉で過ごした

その思いを次につなぐことが必要。その先頭に立って、今後の施策に生かしてもらいたい。

**問** 町が目標値を実現させるためには、様々な分野において総合的に住みやすい環境をつくる必要があると考える。各分野における施策の内、特に人口定住にかかる施策はどのようなものか。

**答** (町長) 具体的な取り組みとして、雇用は、新たな産業団地の造成と企業誘致、教育は、キャリア教育やプログラミング教育など、独自の教育に力を入れている。福祉は、住みやすい地域づくりを目指す「地域包括ケアシステム」の構築、子育ては、3人目を対象に出産祝い金として30万円を支給、子育て世帯が住宅を取得した際に奨励金として100万円を交付している。また、定住人口の増加に向け、中満南団地第2工区の発売を開始した。

**問** 中満2工区の様子はどのようなになっているのか。

**答** (建設課長) 戸建て住宅31区画のうち、現在、10区画の申し込みがある。共同住宅6区画には2区画の申し込みがある。

**問** 宿泊施設の整備も重要かと思うが、(株)ファーストスプリングは、なぜ

撤退したのか。

**答** (新産業創造室長) 下請業者を含めた工事関係者間のトラブルによって、建築工事資金が枯渇し、事業継続が困難となったという報告を受けている。

**問** 大もとの(株)一の湯に改めて進出するよう町から要望すべきと思うが。

**答** (新産業創造室長) 当初より一の湯とは別会社による運営を予定し、ファーストスプリング社を設立した。このような状況から、一の湯に進出を求めるということは考えていない。

**問** 定住人口を増やすことと同時に、檜葉特有の資源や施設を生かし、交流人口を拡大することも必要な施策と思うが、どのような取り組みをしているのか。

**答** (町長) 本町には、「天神岬」や「木戸川溪谷」をはじめ、「Jヴィレッジ」、温泉を有する「道の駅」、「笑ふるタウン」や建設中の「ならはスカイアリーナ」等、全国に誇れる魅力ある地域資源が数多く存在している。特に、Jヴィレッジ周辺地域の振興と活性化へ繋げていくための議論を始めた。これらの施設で生まれる新たな人と人とのつながりを通して、多くの方々に町の魅力を伝えられるよう取り組みながら、交流人口の拡大を図っていきたい。

# 町政を問う！

関本 範貞 議員



## ◆竜田駅東側開発について

**問** メインとなるホテルの建設が進んでいない。今までの経緯と、現状はどうなっているのか。

**答** (町長) 建築工事資金の枯渇により事業継続が困難となり、8月28日付でファーストスプリングが、破産の申し立てを行った。現状、破産管財人と協議をしている。

**問** 業者の決定は、公募なのか紹介なのか。この業者に決定した理由は。

**答** (新産業創造室長) 公募ではない。業者から進出の意向を聞いた。また、復興庁からも、町の計画を進めるためということで紹介を受けた。

**問** 信用性は本当にあったのか。

**答** (新産業創造室長) 一の湯の代表者が個人的に出資して設立した会社であり、信頼できる事業者であると認識し選定した。

**問** 今後も、ホテルを誘致するのか。  
**答** (新産業創造室長) 計画と同様、ホテルを整備する事業者の誘致を現時点では考えている。

**問** ホテル建設予定業者が破綻し、町内業者がトラブルとなっているが、現状を把握しているのか。

**答** (町長) ホテル建築事業に関係し、町内事業者数社への未払いが生じていることは把握している。

**問** 町として、責任をどのように考えているのか。

**答** (町長) 民間対民間でのトラブルであり、町がどう責任をとるかということ、は、申し上げにくい。

**提言** 今後、このようなトラブルがないよう、業者をきちんと選定してもらいたい。

## ◆町の働き方改革への取り組み

**問** 長時間労働を解消するための対策をどのように考えているのか。

**答** (町長) 職員の負担が軽減するよう、他団体からの派遣職員の配置や、任期付・非常勤職員を採用し、不足する職員の補充を行い対応している。

**問** 職員の通勤費をカットしていると思う。その理由と時期は。

**答** (総務課長) 平成29年4月から通勤手当に上限を設け、16km以上は1万8

00円と決めた。理由は、1時間の通勤が、職員の健康状態から適当との考え方から上限を設けた。

**問** 若い職員も、復興事業等を懸命にやっている。条例どおりの金額を支払ってどうか。

**答** (総務課長) 近隣の復興の状況により、通勤時間も短縮すると想定される。状況を勘案しながら今後検討していく。

## ◆町の今後の財政見通しについて

新たな交付金の構想は。

**答** (町長) 福島第二原発の廃炉の方針は、第一原発の事故によるものであり、通常の計画廃炉とは違う。第一の事故による交付金を立地町は受けており、それに準ずるものを第二にも充てるよう国等に要望している。

**問** 歳出削減対策は。

**答** (町長) 歳出削減についてプロジェクトチームを設け、様々な角度から検証・検討を進めている。

**問** 以前のように三役の報酬カットも考えるのか。

**答** (総務課長) 平成15年から29年3月まで、行政改革の一環として、当時の町長が給与の5%カットを実施していた。現町長が自ら削減するのであれば、特例条例を制定したい。

**問** 通勤カットと特別職の報酬カットをやめた時期が重なるが、関係はあるのか。カット分を上乗せしたとも取れかねないのでは。

**答** (総務課長) 通勤手当カットと町長の給与のカット終了は、全く関連性はない。郡内の首長の給与も勘案し、震災以降の首長の業務が大変多忙であり、本来支給すべき給与をカットする必要はないとの見解である。

**提言** 復興がここまで来たのも、現場の職員が頑張ってきたからである。働きやすい環境の整備を求める。

## ◆畑等の境界の現状について

**問** 津波被害における瓦礫の撤去などによる境界杭の紛失、除染等で境界の標となる石や木の除去により、境界がわからないという事例が多数発生している。町としての対応は。

**答** (町長) 現状、瓦礫の撤去や除染が原因と特定することは困難であり、土地所有者同士で解決していただくものと考えている。

**問** 困っている方が結構いる。相談には乗ってもらいたい。

**答** (くらし安全対策課長) スムーズに境界が確定できるよう、できることは協力していきたい。

# 議会の足跡【11月～1月】

日 付	11 月
3	ならは町秋空散策あるこう会2018
7	東日本大震災及び原子力災害に関する特別委員会（福島第二原発の維持管理）
9	第30回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会榎葉町選手団結団式
10	市町村対抗福島県軟式野球大会・ソフトボール大会榎葉町選手団慰労会
14-15	会津美里町議会との交流会（会津美里町）
16	議会運営委員会
17-18	第30回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会激励（白河市・福島市）
20	第11回11月議会臨時会 三笠宮信子妃殿下との会食
21	第62回町村議会議長会全国大会（東京都）
22	議会議員定数に関する調査特別委員会（第6回）
28	榎葉町戦没者追悼式・慰霊祭 上荒川仮設住宅帰還者親睦会 東京電力廃炉資料館内覧会
29	議会議員定数に関する調査特別委員会（第7回）
30	双葉地方町村議会議長会議（富岡町）
日 付	12 月
1	あおぞらこども園生活発表会
2	平成30年度榎葉町表彰式
7	議会運営委員会
10	議会合同委員会
12-13	第12回12月議会定例会
14	ウインターイルミネーションinならは点灯式
18	環境省特定廃棄物固化処理施設・リプルンふくしま視察
19	地域包括ケアシステム研修会 石川経済産業大臣政務官来庁
20-21	双葉地方町村会・議会議長会合同要望活動（東京都）
22	議会報告会並びに意見交換会（町内・いわき市）

25	なら福開店披露会
26	復興副大臣と議会議長との意見交換会（福島市）
日 付	1 月
4	仕事始めの式
5	平成31年双葉消防本部出初め式
10	年始知事懇談会（福島市） 町村議会議長・議会事務局長合同会議（福島市）
12	奇祭・高田大依引き（会津美里町）
13	平成31年榎葉町成人式
15	議会運営委員会
17	第1回1月榎葉町議会臨時会 榎葉町議会全員協議会
18	橋復興副大臣来庁 高木公明党国対委員長と双葉地方議長との懇談会
20	平成31年榎葉町消防団出初式 平成31年榎葉町新春交歓会
23	東日本大震災及び原子力災害に関する特別委員会（町の財政状況と今後の課題）
30-31	国・東京電力への要望活動（東京）



会津美里町議会との交流会（11月14・15日）



平成31年1月30日（水）・31日（木）

## 国へ要望書を提出

平成31年1月30・31日、国の関係省庁等に要望書を提出いたしました。

### ●提出先

復興庁、環境省、経済産業省、農林水産省、文部科学省、国土交通省、厚生労働省、総務省、自由民主党東日本大震災復興加速化本部



環境省（原田環境大臣）

## 《 要 望 の 趣 旨 》

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から、間もなく8年目を迎えるとしているが、原子力災害は今なお収束せず、住み慣れた古里を離れ、まだ辛い避難生活を続ける町民も多く、心身ともに大変疲弊している。

このような中、復興に向けた取り組みも着実に実を結び、昨年には笑ふるタウンに商業施設などがオープンし、町内に少しずつ賑わいを感じられるようになった。

しかし、更に多くの町民が安心、安全で暮らしやすい生活環境を取り戻すため住民福祉、居住環境確保への必要性が高まっている。

かつての自然豊かで暮らしやすいふるさと「ならは」を取り戻し、将来を担う子供たちが、夢や希望に満ち溢れ、檜葉町で生まれ、育ったという誇りを持てるよう、檜葉町議会は町民と一致団結し完全復興を成し遂げるという決意をもって、この要望書を取りまとめた。

過去に類を見ない極めて過酷な原子力災害からの真の復興を目指す当町の実情を再度認識いただき、檜葉町が大震災前以上の繁栄が成し遂げられるまで、国の責務として総力を挙げて対応下さるよう、次のとおり強く要望する。

## 《 檜葉町の復興再生に向けた要望事項 》

- 1 復興推進体制の継続と復興予算の確保等について
  - ①復興庁を存続させ、復興予算の確保を図ること。
  - ②被災者支援総合交付金の長期的な予算の確保。
  - ③買入物環境整備への、財政支援を行うこと。
  - ④下水道事業への財政支援。
  - ⑤町道維持補修への財源支援。
- 2 避難地域の復興の実現
  - ①中・長期的財源の確保。
  - ②職員派遣等の継続、支援。
- 3 原子力発電所事故の収束と迅速かつ正確な情報提供
  - ①国が責任を持って、事故の収束と廃炉を進めること。
  - ②原子力防災体制の強化を図る。
- 4 医療、介護、福祉体制の充実と財政支援措置について
  - ①医療環境の充実・整備、特に人工透析が可能な医療環境の整備への財政支援の強化。
  - ②社会福祉施設の充実・整備、運営に対する継続的な支援。
- 5 国民健康保険等の支援制度の継続について
  - ⑥被害実態に見合った迅速かつ確実な賠償について
  - ⑦宮農再開への支援
  - ⑧申請手続等の更なる基準適応の拡大や迅速化。
  - ⑨復興・創生期間終了後の制度の継続と予算の確保。
  - ⑩イノシシ等有害鳥獣駆除対策への支援強化を図ること。
- 6 被災者に対する支援
  - ①施設・設備の充実、人材の確保、財政支援を行うこと。
  - ②質の高い教職員の増員配置の継続の県への働きかけ。
  - ③被災児童生徒就学支援等事業交付金の予算確保。
- 7 除染、家屋解体の支援強化
  - ①屋敷林、森林、里山の除染。
  - ②木戸ダム湖底や河川の除染。
  - ③家屋解体の速やかな実施と追加受付を行うこと。
  - ④自宅片づけゴミや粗大ゴミの回収・処理への支援。
  - ⑤宮農再開への技術支援。
  - ⑥緊急避難道の早期整備と交通渋滞緩和について
  - ⑦国道6号の渋滞緩和と4車線化、常磐道広野IC以北の4車線化等、地方主要道の整備促進と渋滞緩和。
- 8 教育に対する支援
  - ①施設・設備の充実、人材の確保、財政支援を行うこと。
  - ②質の高い教職員の増員配置の継続の県への働きかけ。
  - ③被災児童生徒就学支援等事業交付金の予算確保。
- 9 除染、家屋解体の支援強化
  - ①屋敷林、森林、里山の除染。
  - ②木戸ダム湖底や河川の除染。
  - ③家屋解体の速やかな実施と追加受付を行うこと。
  - ④自宅片づけゴミや粗大ゴミの回収・処理への支援。
  - ⑤宮農再開への技術支援。
  - ⑥緊急避難道の早期整備と交通渋滞緩和について
  - ⑦国道6号の渋滞緩和と4車線化、常磐道広野IC以北の4車線化等、地方主要道の整備促進と渋滞緩和。
- 10 緊急避難道の早期整備と交通渋滞緩和について
  - ⑦国道6号の渋滞緩和と4車線化、常磐道広野IC以北の4車線化等、地方主要道の整備促進と渋滞緩和。

平成30年12月に実施しました『議会報告会並びに意見交換会』において、皆さまからいただいたご意見やご要望を基に要望事項を取りまとめ、国と東京電力ホールディングス㈱に対し、要望活動を行いました。



経済産業省（磯崎副大臣）



自由民主党東日本大震災復興加速化本部（額賀本部長）



吉野前復興大臣に同行いただきました



総務省（鈴木副大臣）

## 《東京電力ホールディングス㈱へ決議書》

平成31年1月31日、東京電力ホールディングス㈱本社において、決議書を近藤通隆福島復興本社副代表へ手渡しました。

平成31年1月31日（木）

### 《 決 議 書 》

福島第一原子力発電所3号機において、燃料取扱設備の不具合で未だに復旧出来ず、安全な廃炉作業に対する町民の不安が増している。

過去に類を見ない極めて過酷な原子力災害からの真の復興を目指す当町の実情を再度認識し、事故原因者の責務として総力を上げて対応するよう強く決議する。



福島復興本社近藤副代表へ決議書を手渡す

### 《 決 議 事 項 》

- 1 情報公開の徹底と適時・適切な情報提供による住民の不安の解消に努めること。
- 2 福島第一原子力発電所事故の収束作業と廃炉に向けた取り組みを安全かつ着実に進めること。
- 3 福島第二原子力発電所については、その潜在的リスクの観点から、早急に全基廃炉を正式決定すること。
- 4 被害実態に見合った迅速かつ確実な賠償を行うこと。
- 5 復興関連事業への支援と地元雇用を含めた地域振興策を講ずること。



## 総務環境常任委員会

桤葉沖における風力発電の実態調査

【調査日：平成30年10月4日】

国では、再生可能エネルギーへの取組みの一つとして、桤葉沖にて浮体式洋上ウィンドファーム実証研究事業を実施している。

当委員会では、桤葉沖に設置された浮体式洋上風力発電施設を現地調査した。

### 1 実証研究事業の概要

#### ○運営

・委託元

経済産業省（資源エネルギー庁）

・受託先

福島洋上風力コンソーシアム（共同事業体）丸紅㈱、東京大学、三菱商事㈱など11社。

#### ・目的

①大規模浮体式洋上風力ウィンドファームの事業展開の実現。

②世界初のノウハウを蓄積し、日本の主要な輸出産業の一つに育成。

③震災からの復興に向け、再生可能エネルギーを中心とした新たな産業の集積・雇用の創出を行い、福島を風車産業の一大集積地とする。

### 2 設備の状況

#### ○浮体式洋上変電所「ふくしま絆」

・主要設備 変電設備、ヘリポート等

・運転開始 平成25年11月

・規格 水面からの高さ 61m

#### ○2MW浮体式洋上風車「ふくしま未来」

・運転開始 平成25年11月

・規格 タワーの高さ…66m

・運転状況 稼働率…94・1%

#### ○5MW浮体式洋上風車「ふくしま浜風」

・運転開始 平成29年2月

・規格 タワーの高さ…86m  
・運転状況 稼働率…61・3%  
○7MW浮体式洋上風車「ふくしま新風」  
・運転開始 平成27年12月  
・規格 タワーの高さ…105m  
・運転状況 稼働率…16・4%

### 3 まとめ

今回、浮体式洋上ウィンドファーム実証研究事業について、事業の実態とその適正な管理体制等を確認することができた。

しかし、今回の調査後、7MW風車が稼働率を上げられず国が撤去の方針を決定するなど、実証研究が当初の計画どおり進んでいない面も明らかになった。

本事業は国が500億円以上という多額の経費をかけて実施しているものであり、目的である風車産業を中心とした産業の集積や雇用創出により福島県の復興を実現するため、一層の効率化や技術開発を国及び事業者へ求めた。



浮体式洋上変電所「ふくしま絆」

## 原子力発電所 安全対策 常任委員会

福島第二原子力発電所の状況  
と廃炉へ向けた取り組み

【調査日：平成30年11月7日】

昨年6月、東京電力は、当町に立地している福島第二原子力発電所の全号機廃炉の方針を表明したが、具体的な工程や計画は示されておらず、4基すべて停止状態を維持している状況である。

当委員会では、福島第二原子力発電所の維持管理の状況と廃炉へ向けた取り組み状況について、東京電力に説明を求めた。

### 1 維持管理の状況

#### ○設備強化の取り組み

・津波対策 仮設防潮堤の設置など  
・注水手段の強化 消防車の配備  
・現場対応力の強化  
・電源の強化 電源車の配備など  
・震災時の教訓から

①予備モータ、予備ケーブルの準備

②ボータフル発電機の配備  
○使用済燃料プールの安定冷却の取り組み

・燃料全て、使用済燃料プールにて保管  
・燃料冷却設備 通常の系統に加え、バックアップとして独立した2系統を準備  
・外部注水手段 外部から注水し



# 経済福祉常任委員会

## 県道及び主要町道の現状調査

【調査日：平成30年10月18日】

町内では、東日本大震災により被災または中断していた県道や町道の整備が、盛んに実施されている。

当委員会では、各県道・町道の整備地内において整備状況を調査した。

### 1 県道の整備状況

①小埤上郡山線（井出字浄光東地内）

・整備内容 道路拡幅・改良

・進捗状況 平成30年度測量、実施設計

②木戸停車場線（山田岡字町東地内）

・整備内容 道路・橋りょう拡幅・改良

・進捗状況 工事実施中

③下川内竜田停車場線（井出字八石地内）

・整備内容 道路拡幅・延伸、国道6号への接続改良

・進捗状況 平成30年度測量、設計

④いわき浪江線（大谷地内）

・整備内容 スマートICへの接続工事、上・下水道管移設等

・進捗状況 平成30年度完了予定

⑤広野小高線（山田浜・波倉：8km）

○天神工区（南地区浄化センター前）

・進捗状況 平成30年度完了予定

○井出工区（井出字上ノ原地内）

・進捗状況 平成30年度完了予定

○波倉工区（波倉字原地内）

・進捗状況 平成31年度完了予定

○波倉工区（波倉字原地内）

・進捗状況 平成31年度完了予定

○波倉工区（波倉字原地内）

・進捗状況 平成32年度完了予定

### 2 町道の整備状況

①波倉線（井出字浄光東・波倉字原地内）

・整備内容 道路拡幅・改良、歩道設置

・進捗状況 平成31年度工事着手予定

②木屋・小六郎線（井出字木屋・館ノ沢）

・整備内容 道路拡幅・改良、歩道設置、竜田駅自由通路・交通広場設置、館ノ沢橋架替等

・進捗状況 平成33年度完了予定

③ならはスマートインター線（大谷地内）

・整備内容 連結路整備、駐車場整備

・進捗状況 平成30年度完了予定

④狐久保線（北田字鐘突堂地内）

・整備内容 道路拡幅・改良、歩道設置

・進捗状況 平成31年度完了予定

⑤中満・天神岬線（北田字上ノ原地内）

・整備内容 道路拡幅・改良、歩道設置

・進捗状況 工事実施中

### 3 まとめ

現在着工・計画中の路線は復興・創生期間である平成32年度中には概ね完成見込みであり、順調に進捗していることが確認できた。

しかし、利便性が向上し交通量が増加した結果、事故発生

の危険性が増

加している箇

所もある。今

後、信号や防

犯灯を設置す

るなど必要な

安全対策を講

ずるよう、県

及び担当課へ

要望した。



県道小埤上郡山線（浄光東地内）現地調査

て冷却する手段も複数準備  
・冷却停止時 保安規定で定める  
運転上の制限値（65℃）に到達  
するまで180時間（7・5日）  
以上あると見込まれ、その間に  
設備の復旧が可能

### 2 廃炉に関する検討

○廃炉検討に関する表明について

・平成30年6月14日、東京電力社長

が福島県知事を訪問した際、「福

島第二原子力発電所の全号機を

廃炉の方向で具体的に検討を進

めていく」旨を表明

○表明の背景・経緯

・「曖昧な言い方」を続けることは

復興の妨げになると判断

○廃炉に関する検討体制・検討状況

・プロジェクトチームの概要

・平成30年7月19日付けで、社内に

社長直轄のプロジェクトチームを

設置

○プロジェクトチームにおける検討

状況

・福島第二原子力発電所の安全な

廃炉

・人員の確保

・経営全般に及ぼす影響 等

↓今後、プロジェクトチームでの

検討内容を踏まえ、関係機関の

理解・協力を得て決定していく。

### 3 まとめ

福島第二原子力発電所の維持管理

の状況について、多重の安全対策、

緊急時に備えた設備の強化等、適切

に原子炉の冷温停止状態を維持でき

ていることが確認できた。

第二原子力発電所の廃炉が与える

影響は、経済、財政面や雇用など多

岐にわたるため、より具体的な方針

や工程等を早い段階で示すよう要望

## 議会報告会並びに意見交換会を開催しました

平成30年12月22日（土）に、「みんなの交流館ならはCANvas」といわき市内「中央台公民館」の2会場で、議会報告会並びに意見交換会を開催しました。

多くの方々にご参加をいただき、ご意見やご要望等をいただきました。

この意見交換会でいただいたご要望などをもとに、国・東京電力ホールディングス㈱への要望活動を1月に実施いたしました【内容は、12～13ページ】。

また、みなさんにいただいたご意見を、今後の議会活動に活かして参ります。

ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。



ならはCANvas会場

## 平成31年3月定例会は、3月7日（木）から開会予定です。

【開会日は変更となる場合があります。予めご了承ください。】

### ● 場 所

檜葉町役場 3階 議場

※議会を傍聴される際には、決まりを守り  
静粛に傍聴されるようお願いいたします。  
なお、席には限りがありますので、予め  
ご了承ください。



### ◆ 傍聴の際守っていただくこと ◆

- ①携帯電話等は電源を切るか、音を発しないように設定してください。  
また、通話や撮影、録音は行わないでください。
- ②傍聴席では静粛を旨とし、次の事項をお守りください。
  - ・ 議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
  - ・ 談論し、放歌し、高笑し、その他騒ぎ立てないこと。
  - ・ 飲食又は喫煙をしないこと。
  - ・ みだりに席を離れないこと。
  - ・ 不体裁な行為又は他人の迷惑となる行為をしないこと。
  - ・ その他議場の秩序を乱し、又は議事の妨害となるような行為をしないこと。